

## 2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	都市防災・復興小委員会	主 査 名：大西一嘉 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：小林英嗣 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月～ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域性を考慮した防災対策の見直しとともに、被災地の復興支援のあり方について、事前・事後の両面から解決すべき都市計画課題を明らかにする。</li> <li>・成果を社会的に還元するために、蓄積された知見の資料集としての公表やシンポジウム開催を企画する。</li> </ul> 初年度：近年の都市災害被災研究に基づく防災資料の公開企画などを行う。 2 年度：災害調査のあり方を研究会方式で議論する。 3 年度：復興支援のあり方を研究会方式で議論する。 4 年度：市民防災と防災行政の双方の立場から議論する	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：あり 主査：大西一嘉(神戸大学) 幹事：糸井川栄一(筑波大学)、幹事：村尾 修(筑波大学)、幹事：加藤孝明(東京大学)、池田浩敬(富士常葉大学) 委員：岡田成幸(名古屋工業大学)、市古太郎(首都大学東京)、牧紀夫(京都大学防災研究所)、伊村則子(武蔵野大学)、紅谷昇平(人と防災未来センター)、石井儀光(国土交通省国総研)、澤田雅浩(長岡造形大学)、日高圭一郎(九州産業大学)、生田英輔(大阪市立大学)、近藤民代(人と防災未来センター)	
設置 WG (WG 名：目的)	防災教育 WG 防災教育の面で、小委員会活動の成果の還元や大学教育へも反映するため、デジタルデータを生かした公開に取り組む。	
2008 年度予算	388,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. (名称) PD「良い復興とは何か？」 参加者数 50 名 (資料名)「良い復興とは何か？」
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. PD では国内外の災害復興の教訓から、めざすべき復興のあり方について委員以外の専門家を交えて議論し、共通認識を深めることができた。 2. PD 資料の作成を通じて、復興研究資料の経年的整理をはかった。
委員会活動の問題点・課題	近年、地方の集落や中山間部において大規模な地震災害が頻発し、農村委員会とも連携を深めさらなる共同研究等にとりくむ必要性が高まっている。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通

項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。